

令和元年6月18日  
総務省行政管理局公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業  
「薬物乱用防止啓発訪問事業」の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）第7条第8項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

I 事業の概要等

事項	内容
事業概要	若い世代、その保護者及び指導者層に対して、薬物の危険性等の正しい知識を普及するとともに、薬物乱用の誘いを断れるようにすることを目的に据え、本事業を実施する。 ①訪問事業：小中高等学校、地域のイベント等への訪問 ②情報発信事業：様々な広報形態・媒体を活用した普及啓発事業
実施期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日（第1期目）
受託事業者	株式会社小学館集英社プロダクション
契約金額（税抜）	237,500,000円（単年度当たり：47,500,000円）
入札の状況	2者応札（説明会参加＝2者／予定価内＝2者）
事業の目的	主に青少年、その保護者及び指導者層が参加する薬物乱用防止教室や地域イベントを個別に訪問するとともに、各種媒体を用いた情報発信を行うことで、薬物乱用に関する正しい知識の普及・浸透を図るとともに、薬物乱用を許さない国民世論を形成し、薬物乱用を撲滅することを目指す。
選定の経緯	各省庁・独立行政法人に対し、公共サービスの全般業務について、市場化テストの一斉導入が求められたことに伴い、平成25年公共サービス改革基本方針において選定

II 評価

1 概要

終了プロセスに移行することが適当である。

2 検討

(1) 評価方法について

厚生労働省から提出された平成 27 年 4 月から平成 31 年 3 月までの実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費及びその前提としての競争性等の観点から評価を行う。

(2) 対象公共サービスの実施内容に関する評価

事 項	内 容					
確保されるべき質の達成状況	以下のとおり、適切に履行されている。					
	確保されるべき水準	評 価				
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	全体評価
	訪問事業の参加者数等を年間 10 万人以上、その際の教育機関への訪問箇所数を年間 300 箇所以上	訪問事業の参加者数 152,230 人  教育機関への訪問箇所数年間 330 箇所	訪問事業の参加者数 144,721 人  教育機関への訪問箇所数年間 350 箇所	訪問事業の参加者数 185,249 人  教育機関への訪問箇所数年間 407 箇所	訪問事業の参加者数 188,970 人  教育機関への訪問箇所数年間 453 箇所	指標を達成しており良好である
参加者へのアンケートにおいて、「Q3の1及び2※の割合」が 90%以上であること  ※Q3 全体的に内容はわかりやすかったか  1 とてもわかりやすかった 2 まあまあわかりやすかった	Q3 の1 55.8% Q3 の2 38.0% 合計 93.8%	Q3 の1 51.1% Q3 の2 39.3% 合計 90.4%	Q3 の1 57.3% Q3 の2 36.3% 合計 93.6%	Q3 の1 59.1% Q3 の2 35.8% 合計 94.9%	指標を達成しており良好である	
情報発信事業のフォロー数等の閲覧者を年間 10 万人以上 (Facebook、Twitter 及び新たな広報形態、媒体の合計)とする	閲覧者数は、759,806 人	閲覧者数は、1,033,107 人	閲覧者数は、1,102,800 人	閲覧者数は、1,296,581 人	指標を大幅に上回り、極めて良好である	
民間事業者からの改善提案	民間事業者が新たに書き下ろしたイメージキャラクターを活用しての啓発資材の作成や、薬物クイズラリーや、違法薬物を狙う薬物撃退射撃ゲームをイベント訪問で実施するなど、幅広い年代に親しみやすい啓発が可能となっている。					

(3) 実施経費（税抜）

実施経費は、従来経費と比較して、約 5.2%削減されており、経費削減が達成されている。

従来経費（平成 26 年度）	50,100,000 円（単年度）
実施経費（平成 27 年度～令和元年度）	237,500,000 円 237,500,000 円 ÷ 業務履行期間 5 年 = 47,500,000 円 / 年
削減額	2,600,000 円 / 年
削減率	約 5.2%

#### （４）選定の際の課題に対する改善

課 題	競争性に課題が認められたことから、仕様内容の修正、従来の実施状況に関する情報（委託費の内訳）の開示及び契約期間を 1 年から 5 年へ延長することで、複数応札及び経費削減に至り、改善が認められた。
-----	--

#### （５）評価のまとめ

入札において、2 者の応札があり、競争性が確保されている。

業務の実施にあたり確保されるべき達成目標として設定された質については、平成 27 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの 4 年間で全て目標を達成していると評価できる。

また、民間事業者の改善提案により、幅広い年代に親しみやすい啓発が可能になるなど、民間事業者のノウハウと創意工夫の発揮が業務の質の向上に貢献したものと評価できる。

実施経費についても、2,600,000 円 / 年（約 5.2%）削減されており、公共サービスの質の維持向上と合わせて、経費の削減の双方の実現が達成されたものと評価できる。

なお、本事業の実施期間中に受託民間事業者への業務改善命令等の措置はなく、法令違反行為等もなかった。また、今後は、厚生労働省に設置している外部有識者で構成されている公共調達中央監視委員会において、事業実施状況のチェックを受ける予定である。

#### （６）今後の方針

本事業については、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成 26 年 3 月 19 日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅱ. 1.（1）の基準を満たしていることから、現在実施中の事業をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。

市場化テスト終了後の事業実施については「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」の対象から外れることとなるものの、これまでの官民競争入札等監理委員会における審議を通じて厳しくチェックされてきた公共サービスの質、実施期間、入札参加資格、入札手続及び情報開示に関する事項等を踏まえた上で、厚生労働省が自ら公共サービスの質の維持向上及びコストの削減を図っていくことを求めたい。

令和元年6月 11 日  
厚生労働省

## 民間競争入札実施事業 薬物乱用防止啓発訪問事業の実施状況について

### 1. 事業概要

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律(平成 18 年法律第 51 号)に基づく民間競争入札を行い、以下の内容により、平成 27 年度から薬物乱用防止啓発訪問事業を実施している。

#### (1)業務内容

##### ア 訪問事業

通年の事業で、全国(但し、北海道、沖縄を除く)を対象に可能な限り多くの対象者に対し、薬物乱用防止啓発活動を行う。

具体的には、薬物乱用防止に関して有効な資材を開発又は準備し、主な対象である青少年層並びにその保護者及び指導者層の集まるイベントや、小中学校を始めとする教育機関等からの派遣要請に応じて訪問する先で、薬物乱用防止の専門家等による印象的な啓発活動を行う企画を立案し、実施する。

##### イ 情報発信事業

訪問事業に参加することができなかった者に対して、薬物乱用を正しく理解するために必要な情報を迅速かつ幅広く発信する。

具体的には、Facebook 及び Twitter を通して情報を発信する。また、併せて、Facebook 及び Twitter の日々の運用・管理も行う。

#### (2)契約期間

平成 27年4月1日～令和2年3月 31 日

#### (3)受託事業者

株式会社小学館集英社プロダクション

#### (4)受託事業者決定の経緯

「薬物乱用防止啓発訪問事業に関する民間競争入札実施要項」に基づき、入札参加者(2 者)から提出された提案書について、外部有識者を含めた技術審査評価委員会において、審査した結果、いずれも技術的要件は満たしていた。入札価格については、平成 27年3月2日に開札したところ、いずれも予定価格の範囲内の価格が提示された。

以上を踏まえ、総合評価を行った結果、上記の者を落札者と決定した。

2. 確保されるべきサービスの質の達成状況及び評価

本業務における民間競争入札実施要項(以下「実施要項」という。)において定めた受託事業者が確保すべきサービスの質に対する、当省の評価は以下のとおりである。

評価事項	指標(目標)	実施結果				評価
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
訪問事業の参加者数と訪問箇所数	訪問事業の参加者数等を年間10万人以上、その際の教育機関への訪問箇所数を年間300箇所以上(参加者数等10万人の中には、資材のみ貸出した場合の利用者数も含む)	訪問事業の参加者数152,230人(資材のみの貸出利用者数24,596人含む) 教育機関への訪問箇所数年間330箇所	訪問事業の参加者数144,721人(資材のみの貸出利用者数37,080人含む) 教育機関への訪問箇所数年間350箇所	訪問事業の参加者数185,249人(資材のみの貸出利用者数25,183人含む) 教育機関への訪問箇所数年間407箇所(薬剤師会等への派遣14箇所含む)	訪問事業の参加者数188,970人(資材のみの貸出利用者数13,467人含む) 教育機関への訪問箇所数年間453箇所(保健所や県庁等への派遣9箇所含む)	指標を達成しており良好である
参加者へのアンケート結果 (別紙参照)	参加者へのアンケートにおいて、「Q3の1及び2※の割合」が90%以上であること。 月々の「Q3の1及び2の割合」が90%未満になった場合には、改善策を講じ、実行すること  ※Q3 全体的に内容はわかりやすかったか 1 とてもわかりやすかった。 2 まあまあわかりやすかった。	Q3の1 55.8% Q3の2 38.0%  合計 93.8%	Q3の1 51.1% Q3の2 39.3% 合計 90.4%  ◆4月、11月、1月については90%の満足度が得られていなかったため、対応については後述	Q3の1 57.3% Q3の2 36.3% 合計 93.6%  ◆6月については90%の満足度を得られていなかったため、対応については後述	Q3の1 59.1% Q3の2 35.8% 合計 94.9%	指標を達成しており良好である
情報発信事業のフォロワー数	情報発信事業のフォロワー等の閲覧者を年間10万人以上(Facebook、Twitter及び新たな広報形態、媒体の合計)とする。	週3回の頻度で情報を発信し、閲覧者数は759,806人	週3回の頻度で情報を発信し、閲覧者数は1,033,107人	週3回の頻度で情報を発信し、閲覧者数は1,102,800人	週3回の頻度で情報を発信し、閲覧者数は1,296,581人	指標を大幅に上回り、極めて良好である

◆ 参加者へのアンケートにおいて、満足度が90%未満になった場合に行った改善策について

【講師へのアプローチ】

- ① その月のすべての講座のアンケート結果をチェックし、著しく数字を下げている講師を特定
- ② 該当講師にアンケート結果の開示を行い、模擬講義のDVDを送付して講義方法の向上を依頼
- ③ 監修の有識者に依頼し、次月以降で予定されている該当講師の講義にスーパーバイズとして赴いていただく
- ④ その後の講義に再びスーパーバイズとして赴き、講義の状況を確認
- ⑤ その後のアンケートでは90%以上に改善されているという結果を確認後、引き続き該当講師への派遣依頼を実施

【事務局側の改善】

該当講師の特徴を把握し、「どのような形であれば該当講師が問題なく講義できるのか」の検討を実施

(例) 声が小さく、話が聞き取りづらい講師に関しては、マイクを使って講義をする学校の場合のみ依頼するなど

⇒のちのアンケートでの数字が90%以上に向上

【講師全体の指導スキル向上のための改善策】

- ① 教材の改善(使いやすさ向上、指導ポイントの明確化)
- ② 指導用補助教材の改良(指導ポイント集の配布)
- ③ 指導員養成事業への参加奨励およびテキストの配布
- ④ 指導員養成事業の研修動画を案内

※ 月々の満足度アンケートについては、1ヶ月の平均値のため、上記改善策については、満足度が90%を下回った月のみならず、普段から行っている。

### 3. 業務の履行状況

(1) 全体計画の現況

薬物乱用防止教室やSNSを通じて、薬物乱用の違法性のみならず、

- ・大麻、指定薬物を含む危険ドラッグ等に関する正確な知識、
- ・薬物乱用がもたらす脳への影響、
- ・薬物乱用が周囲(家族や社会)にもたらす影響

等を伝達することで、青少年等に対して薬物を乱用してはいけないことを深く、正しく理解させている。また、誘われてしまったときの対処法(断り方)や、誘惑を寄せ付けない・誘惑を断る自信をつけるための自分を勇気付けるステップを重点的に示すことで、青少年等の自己肯定感を高め薬物乱用から身を守るための術も伝達している。

(2) 事業実施にあたって関係者との調整状況

事業開始前の年間計画の確認、教材作成過程における数次の打合せ、学校訪問への同行

等を通じて、事業の実施内容と進行具合を確認しており、効果的な事業実施に繋げている。

(3) 資材の作成、開発状況

教育機関からの訪問要請に応じ、円滑に講義を実施することができるよう、DVD、パワーポイント、リーフレット、講師用マニュアルの整備に加えて、学校経由で保護者向けの啓発に活用できる冊子データの作成も行っている。啓発資材については、描き下ろしのイメージキャラクターを活用することで、薬物乱用の危険性がより分かりやすく伝わるように工夫をし、DVD 教材、パワーポイント教材、リーフレット教材については、薬物乱用防止教育の専門家である監修者2名の他、薬物乱用防止に携わる様々な立場の有識者から助言を受けて製作している。

(4) 厚生労働省及び受託者に寄せられたクレームや問合せについての内容及び対処方法  
本事業に対する問い合わせについては、随時適切に対応を行っている。

4. 実施経費の状況及び評価

(1) 本業務の契約金額

237,500,000 円(税抜き)

但し、上記金額は平成 27 年度～令和元年度の5年契約についての契約金額であるため、単年度実施経費は以下の金額となる。

47,500,000 円(税抜き)

(2) 経費削減効果

	従前経費(平成 26 年度)	市場化テスト実施経費(平成 30 年度)
契約金額	50,100,000 円	47,500,000 円
削減額		2,600,000 円
削減率		5.2%

(3) 評価

市場化テストの導入前の平成 26 年度と、導入後の平成 30 年度の経費を用いて経費削減効果を測定することとする。

市場化テスト実施前の経費と比較すると、単年度に換算して 2,600,000 円の削減、経費削減率としては 5.2%であり、経費削減効果が認められた。

5. 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等

民間事業者が新たに書き下ろしたイメージキャラクターを活用しての啓発資材の作成や、薬物クイズラリーや、違法薬物を狙う薬物撃退射撃ゲームをイベント訪問で実施するなど、幅広い年代に親しみやすい啓発が可能となっている。

6. まとめ

(1) 全体評価

上記2～5 のとおり、サービスの水準、業務の履行、その他の事項のいずれにおいても受託事業者は十分に高く評価でき、円滑に委託事業を実施している。

(2) 今後の事業

1) 本事業の市場化テストの実施状況は以下のとおりである。

- ① 実施期間中に受託事業者が業務改善指示等を受けた、ないし業務にかかる法令違反行為等をした実績はなかった。
- ② 厚生労働省においては、既に公共調達中央監視委員会が設置されており、今後も引き続き外部有識者等のチェックを受ける仕組みが確保できている。
- ③ 本事業入札においては2者からの応札があり、競争性は確保されていた。
- ④ 対象公共サービスの確保されるべき質に係る達成目標について、目標を達成していた。
- ⑤ 従前の経費から削減効果をあげている。

2) 以上のとおり、本事業については、総合的に判断して良好な実施結果が得られていることから、次期事業においては、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」(平成26年3月19日官民競争入札等管理委員会決定)に基づき、終了プロセスへ移行することとし、本事業と同様の事業についても自ら対象業務の質の維持と経費削減を図っていくこととしたい。



別紙

薬物乱用防止啓発訪問事業アンケート集計結果

1 調査対象者

平成27年4月から平成31年3月までに教室に参加した生徒

2 項目別集計結果

Q1 性別

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
男	人数	33,439	41,111	51,410	51,356
	比率	48.3%	51.5%	50.8%	51.4%
女	人数	35,756	38,723	49,797	48,628
	比率	51.7%	48.5%	49.2%	48.6%

Q2 所属

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	人数	12,219	14,524	13,640	13,972
	比率	17.7%	18.2%	13.5%	14.0%
中学校	人数	27,857	32,188	40,296	40,466
	比率	40.2%	40.2%	39.7%	40.5%
高等学校	人数	28,890	32,969	46,747	45,049
	比率	41.7%	41.2%	46.1%	45.0%
大学	人数	43	99	422	271
	比率	0.1%	0.1%	0.4%	0.3%
それ以外	人数	218	208	278	272
	比率	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%

Q3 全体的に内容はわかりやすかったか

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
とてもわかりやすかった	人数	38,171	40,854	57,840	58,906
	比率	55.8%	51.1%	57.3%	59.1%
まあまあわかりやすかった	人数	25,963	31,421	36,645	35,639
	比率	38.0%	39.3%	36.3%	35.8%
少しわかりにくかった	人数	3,178	5,368	4,629	3,711
	比率	4.6%	6.7%	4.6%	3.7%
とてもわかりにくかった	人数	1,047	2,269	1,908	1,414
	比率	1.5%	2.8%	1.9%	1.4%

Q4 薬物の恐ろしさについて理解できたか

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
とても理解できた	人数	55,951	62,847	80,518	79,586
	比率	81.0%	78.6%	79.6%	79.7%
まあまあ理解できた	人数	11,759	14,664	18,372	18,441
	比率	17.0%	18.3%	18.2%	18.5%
少しわかりにくかった	人数	966	1,536	1,305	1,082
	比率	1.4%	1.9%	1.3%	1.1%
とてもわかりにくかった	人数	427	935	1,002	786
	比率	0.6%	1.2%	1.0%	0.8%

Q5 DVDやパンフレットはわかりやすかったか

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
とてもわかりやすかった	人数	39,525	45,510	57,753	55,546
	比率	57.1%	58.3%	57.6%	55.9%
まあまあわかりやすかった	人数	25,796	27,599	37,028	38,953
	比率	37.3%	35.3%	37.0%	39.2%
少しわかりにくかった	人数	2,969	3,556	3,854	3,657
	比率	4.3%	4.6%	3.8%	3.7%
とてもわかりにくかった	人数	876	1,436	1,573	1,232
	比率	1.3%	1.8%	1.6%	1.2%

Q6 もし薬物に誘われてしまったとき、断れると思うか

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
断れると思う	人数	48,233	56,950	72,980	69,296
	比率	69.8%	71.3%	72.2%	69.4%
おそらく断れると思う	人数	18,959	20,414	25,278	27,833
	比率	27.4%	25.5%	25.0%	27.9%
おそらく断れないと思う	人数	1,401	1,603	1,798	1,776
	比率	2.0%	2.0%	1.8%	1.8%
断れないと思う	人数	550	946	981	895
	比率	0.8%	1.2%	1.0%	0.9%

Q7 講師の説明はわかりやすかったか

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
とてもわかりやすかった	人数	42,628	43,890	51,124	55,153
	比率	62.1%	55.9%	60.0%	62.0%
まあまあわかりやすかった	人数	21,562	26,099	26,858	27,920
	比率	31.4%	33.3%	31.5%	31.4%
少しわかりにくかった	人数	3,236	5,673	4,927	4,290
	比率	4.7%	7.2%	5.8%	4.8%
とてもわかりにくかった	人数	1,222	2,831	2,287	1,584
	比率	1.8%	3.6%	2.7%	1.8%